

# 表 紙

## 平成30年度 事業報告書

説明順序	事業所課名	説明順↓
①	特別養護老人ホーム 久喜の里(従来型) 50床 短期入所生活介護事業所 久喜の里(従来型) 10床	
②	特別養護老人ホーム 陽日館(ユニット型) 50床 短期入所生活介護事業所 陽日館(ユニット型) 空床型	
③	看護課(特養 久喜の里、陽日館)	
④	栄養課(特養 久喜の里、陽日館)	
⑤	通所介護事業所(デイサービス) 久喜の里 定員35名	
⑥	訪問介護事業所 久喜の里	
⑦	居宅介護支援事業所 久喜の里	
⑧	地域における公益的な取組	
⑨	久喜市委託事業(いきいきデイサービス)	
⑩	特別養護老人ホーム 喜びの里鷲宮(ユニット型) 100床	
⑪	短期入所生活介護事業所 喜びの里鷲宮(ユニット型) 空床型	
⑫	看護課(特養 喜びの里鷲宮)	
⑬	栄養課(特養 喜びの里鷲宮)	
⑭	地域密着型 通所介護事業所 喜びの里鷲宮 定員18名	

社会福祉法人 茂樹会

1. 平成30年度の事業実績概要

平成30年度の特養久喜の里およびショートステイ久喜の里は、利用者様がその人らしく、安心・安全に生活できることを考え、事業を計画しました。その1年間の事業実績をご報告いたします。

はじめに、平成30年度の事業計画目標および実績を報告します。

①入所・利用率(長期・短期).....96%以上	実績:96.1%
②ヒヤリハット発見件数.....対前年比 5%増	実績:対前年比 ▲8% (平成29年度 1,712件 ⇒ 平成30年度 1,580件)
③利用者満足度調査の実施.....年1回	実績:1回
④地域外出への取り組み.....年16回以上	実績:16回
⑤夢を叶えますプロジェクトの実施...年7人以上	実績:9人
⑥地域貢献事業の実施.....年1回以上	実績:15回
⑦内部研修会・内部勉強会の実施.....年15回以上	実績:40回
⑧介護福祉士資格取得目標.....1名	実績:0名
⑨光熱水費・備品コスト削減	実績:排泄用品・日用品・布オムツ・清拭用品は 前年よりコスト削減達成

以上

入所・利用率については、長期入所者の利用率は95.2%だったが、ショートステイ利用者を確保できて、短期入所利用率は100.5%となった。よって空床利用を行い、全体で96%を上回る実績となった。次年度もショートステイ利用者を確保し、入院等で空いているベッドを活用しながら、多くの方々にご利用していただけるよう取り組んで参ります。また、次年度の課題としては、退所後から次の方が新規入所するまでの日数を短縮するよう取り組みます。待機者管理を徹底し、利用率向上を図ります。

介護現場での「防げた事故」をなくしていくために、ヒヤリハット情報の収集、分析を行ってきましたが30年度もヒヤリハット情報件数が減りました。この目標は、増減が目的でなく、職員が日頃から危険予知の意識を持ってケアを行うことを目的としています。次年度も、目標を掲げ“気づき”の意識を高めながら取り組んでいきたいと思ひます。

また、コスト管理を現場の職員レベルで意識をしていくことで効果が表れている。平成24年度から排泄用品・日用品・清拭類のコストを現場に周知していき、担当者を中心に毎年度コスト削減を成功してきています。また、コストが上がるには要因が明確になれば「必要コスト」として捉えていきます。必要なものと無駄なもの、節減できるものを見極めながら「適正なコスト」管理を行っていきます。

さいごに、今後も「職員の確保」と「職員の質」の課題に取り組んでいき、良い人材と出会い、定着していただくための職場環境と職員の質が上がる環境づくりを、常に探究し実践していきます。ご利用者そして職員と、双方にとって良い環境が生まれるよう取り組んでいきたいと思ひます。

2. 備考欄

- ・チェアイン浴槽について:経年劣化により、2018.4.9に助成金を活用し導入する。
- ・レースカーテン(居室等)新規入替について:経年劣化により、2018.6.26に取付する。
- ・介護ロボット導入活用講習会にて、マッスルスーツについて事例提供(熊谷会場)を行いました。
- ・腰部サポートウェア「ラクニエ」 2018.12に介護現場に導入する。

1. 平成30年度の事業実績概要

平成30年度の特養 陽日館および空床型ショートステイ陽日館は、利用者様が安心・安全に生活できることを第一に考え、事業を計画しました。その1年間の事業実績をご報告いたします。

はじめに、平成30年度の事業計画目標および実績を報告します。

- |                            |   |
|----------------------------|---|
| ①入所・利用率(長期・短期).....98%以上   | 実績:96.6%                                |
| ②ヒヤリハット発見件数.....対前年比 10%増  | 実績:対前年比 18%増<br>(h29年度712件 ⇒ h30年度842件) |
| ③利用者満足度調査の実施.....年1回       | 実績:1回                                   |
| ④地域外出への取り組み.....年9回以上      | 実績:6回                                   |
| ⑤地域貢献事業の実施.....年1回以上       | 実績:15回 ※従来型と重複                          |
| ⑥内部研修会・内部勉強会の実施.....年13回以上 | 実績:30回                                  |
| ⑦介護福祉士資格取得目標.....1名        | 実績:0名                                   |
| ⑧光熱水費・備品コスト削減              | 実績:排泄用品・布オムツ・清拭用品・日用品<br>コスト削減達成(前年対比)  |

以上。

入所・利用率については、長期入所者の利用率は93%だったが、空床ショートステイ利用者を確保し、全体で96.6%の実績となりました。2年連続で目標の98%には届かず、次年度も更なる入退所の管理を強化し、多くの方々にご利用いただき利用率を向上させていきたいと考えます。ポイントは、入院者数を抑えられるか、空床SS利用の促進を図れるか、退所後から入所までの期間を短縮できるか等を検討し、安定した利用率を維持したいと思えます。

事故防止への取り組みも、少しずつ職員に意識づけをおこないました。ヒヤリハット情報の大切さ、様々なことへの”気づき”を養うよう職員育成をおこなってきました。31年度も引き続き、リスクマネジメントの一環としてヒヤリハット情報の収集・分析・周知に取り組んで参ります。特に分析を強化し、防げる事故、防げた事故を減らせるよう取り組んでいきます。

また、コスト管理を現場の職員レベルで意識をしていくことで効果が表れている。平成27年度から排泄用品・日用品・清拭類のコストを現場に周知していき、担当者を中心に毎年度コスト削減に取り組んでいます。また、コストが上がるには要因が明確になれば「必要コスト」として捉えていきます。必要なものと無駄なものを、節減できるものを見極めながら「適正なコスト」管理を行っていきます。

さいごに、今後も「職員の確保」と「職員の質」の課題に取り組んでいき、良い人材と出会い、定着していただくための職場環境と、職員の質が上がる環境づくりを、常に探究し実践していきます。ご利用者そして職員と、双方にとって良い環境が生まれるよう取り組んでいきたいと思えます。

2. 備考欄

- ・腰部サポートウェア「ラクニエ」 2018.12 に介護現場へ導入
- ・2丁目：2019.2.1 ホール壁クロス補修とカーテンレールの取替え修繕
- ・居室ワックス清掃：2019.2.6 ユニット居室(50部屋分)を実施
- ・外壁塗装修繕工事及び玄関前段差修繕：2019.10 実施

## 1. 平成30年度の事業実績概要

平成30年度は、肺炎や誤嚥性肺炎の予防を重点的に取り組み支援させていただきました。

肺炎を予防することに対しては昨年同様、体調不良時は無理のない範囲で食事を提供したり、痰絡みのある利用者様は、頭部をギャッジアップして臥床対応をさせて頂きました。対象者で希望の利用者様には嘱託医により肺炎球菌ワクチンの予防接種をしました。その結果、年間入院者数の23%、14人と減少しました。利用者様の年齢などを考慮しますと肺炎・細菌性肺炎・誤嚥性肺炎は防ぎきれないこととも思われますが、これらの取り組みを行うことにより入院者数が減少したのだと考えています。今後もさらに減少できるよう支援させていただきます。

外来受診については嘱託のあかりクリニックをはじめ23の医療施設に受診しました。ご家族様の協力を得て全体の46.7%(218件)がご家族様対応での受診でした。今後も利用者様の状態をしっかりと報告し、スムーズに受診できるように支援させていただきます。

また、30年度は昨年と同様、インフルエンザに罹患した利用者様はおりませんでした。今年もインフルエンザの予防接種を10月11日に早めに接種することができました。また、体調不良時は早めに対応するよう心がけました。施設内で感染症が流行しないよう繰り返し研修し、実践していきたいと考えています。

平成31年1月～全国的にインフルエンザが大流行しました。利用者様には感染しませんでした。職員や職員家族等には、罹患された方が多数報告されました。久喜市周辺でも流行が確認されましたので、1月下旬から3月1日までの間、施設内への面会制限をかけました。ご家族様等には、ご不便をおかけしましたが、ご理解、ご協力いただきましてありがとうございました。

## 2. 備考欄

利用者さまの体調に応じて、「できるだけ久喜の里で過ごしたい」と希望されるご家族様の意向があり、数名の利用者様にできる限り久喜の里で過ごしていただき、多くの事を教えていただく機会となりました。「安心」や「安楽」のためにたくさんのご意見やご提案をいただくことができました。そのように、ご家族様との信頼関係を築きあげていくことが大切であると考えます。

31年度も施設看護師として、ご家族様や他職種と連携しながら、ご利用者様の生活を支援していきたいと思っております。

栄養課

1. 平成30年度の事業実績概要

栄養課は、「思いやりの心であったかい介護」という当施設の理念に基づいて、ご利用者様が安心安全に楽しく食事を摂り、それが健康維持につながるように、事業を計画しました。その1年間の事業実績をご報告いたします。

① 栄養管理の実施

- ・実施給与栄養量は給与栄養目標量を適正に満たしました。
- ・栄養ケア計画書 …………… 100%実施  
スクリーニング・アセスメント・モニタリングを行い、食事摂取量の低下、体重の増減などから低栄養の可能性のある人は、看護課、介護士に相談し栄養補助食品を追加したり形態を変えたり、嗜好にあったものを提供するなど工夫をしました。
- ・療養食加算、経口維持加算は医師の指示のもと、他職種協働で適正に実施しました。

・(栄養評価)

低栄養状態	低リスク	中リスク	高リスク	介護度
久喜の里	77%	21%	2%	4.1
陽日館	66%	30%	4%	3.9
平均	71%	26%	3%	4

栄養状態は、久喜の里(多床室)は安定した喫食率で例年より良い状態でしたが陽日館(ユニット)は、昨年と大きな変動はないものの、食事ムラがある方が多床室より多く、他職種協働で検討し、なお一層の細かい対応を行いたいと思います。

② 食事サービスの充実

- ・行事食は、季節感のある食材を使用し、年中行事、各部門の行事に合わせ実施しました。満足度を観察、ご利用者様にお話伺い次回の行事食を見直しています。
- ・食事に変化を出すために「お楽しみ献立」年12回実施。  
いつもと違ったお食事で、楽しんで頂きました。
- ・食事の個別対応で、代替食の提供や、希望する食べ物(パン、素麺、ラーメン、鰻、ヨーグルト、お菓子、コーヒー、揚げ物等)を個々の提供方法で実施。喜んで頂いたり、食事意欲が向上したりしました。
- ・その他、喫茶、実演おやつ、手作りおやつ、手作り昼食、出前を楽しんで頂きました。

(久喜の里) ホーム喫茶 12回実施

出前 18回実施

実演おやつ 1回実施

(陽日館) 手作りおやつ、昼食 6回実施

出前 5回実施

ホーム喫茶 参加 12回実施

(デイサービス) 手作りおやつ 18回実施

\* 陽日館(ユニット)の手作りおやつ、昼食、出前等の実施率が低く、

来年度の目標は、今年度11回→20回以上(各ユニット3ヶ月に1回)を目指します。

- ・給食会議……毎月1回実施。給食に対する意見、要望把握し給食の改善に努めました。
- ・嗜好調査……12月実施。利用者の食事に対する嗜好、要望把握し対応しました。

1. 平成30年度の事業実績概要

平成30年度の通所介護(介護予防)久喜の里は、利用者様が、「安全」かつ「安心」して楽しく過ごせる環境づくりを目標に、事業を計画しました。その1年間の事業実績についてご報告いたします。

平成30年度、事業計画目標および実績を報告します。

①デイサービス利用延べ人数	【目標】7305人	【実績】7538人
②利用登録者	【目標】80人	【実績】74名
③利用者満足度調査の実施	【目標】年1回	【実績】1回
④ヒヤリハット報告件数	【目標】対前年比20%増(170回)	【実績】162件
事故報告件数		【実績】11件
⑤選択レクリエーションの実施	【目標】60回以上	【実績】28回
⑥地域行事等への外出	【目標】15回	【実績】17回
⑦ボランティア(慰問)の来所数	【目標】50回以上	【実績】38回
新規ボランティア開拓	【目標】1組以上	【実績】2組開拓
⑧研修会参加	【目標】17回以上	【実績】12回

以上

利用延べ人数は、平成29年度より500人増加という結果になりました。

500人増加しましたが、稼働率(59.65%)は6割に満たない結果となりました。

ヒヤリハット報告件数が目標には満たしませんでした。29年度より意識を高め、事故報告数を1件減らす事に繋がりました。今後も、職員全員で共有し、事故減少に繋げていきます。

目標に満たなかった内容については、2019年度に重点的に取り組んでいきます。

2. 備考欄

- ・ チェアイン浴槽について: 経年劣化により、2018年4月9日(月)に助成金を活用し導入する。

## 1. 平成30年度の事業実績概要

平成30年度の訪問介護久喜の里は、利用者様が住み慣れた自宅で安心・安全に生活できることと介護者の負担軽減を第一に、サービスを提供しました。実人数81名を登録ヘルパー12名で対応しました。

保険外で院内介助 定期1名の対応もしました。

詳細については、以下の通りです。

- ・月別利用状況は、前年度よりも合計回数9%増・実労合計時間8%増でした。
- ・介護度別利用状況は、①身体介護が47名、③身体生活が15名、②生活援助20名でした。
- ・事業所別ケアプラン件数は、12事業所にお世話になり1番多い事業所がすずのき病院でした。
- ・年齢構成は、85～89歳が23名。80～84歳が15名。続いて、75～79歳が14名でした。
- ・平均年齢は、男性82.55歳。女性81.87歳。全体は、82.04歳で昨年より1歳若くなりました。
- ・主な介護者は、子供(息子と娘)が43名で全体の半数以上。続いて配偶者(夫と妻)が15名でした。
- ・世帯構成は、独居39名。配偶者18名。続いて家族が14名でした。
- ・久喜市高齢者生活援助は、該当者なしでした。

事業計画した以下の取り組みを行いながら、サービス提供をしました。

- ・自立した日常生活が、継続できるように手を出しすぎないように支援しました。
- ・利用者様・家族様との信頼関係の確保のため、定期モニタリングをしました。
- ・記録(方法)の見直し、利用者様の様子報告を携帯報告としパソコンから出力継続しました。
- ・他職種との連携のため、担当者会議・地域包括会議に参加しました。
- ・苦情の対策・対応としては、定期ミーティングで情報を共有しました。
- ・職員資質の向上としては、定期ミーティングと個別に自主研修をしました。
- ・H24年に取得した特定事業所加算(10%)の要件を満たし継続しました。

最後に、人材不足の中、利用者様の要望の時間に要望の内容の提供を出来る限り迅速に対応しました。

## 2. 備考欄

## 1. 平成30年度の事業実績概要

今年度(平成30年度)は、ケアプラン作成件数が大幅に減少してしまった。  
昨年度末から引き続き、職員体制が整わず、新規の依頼を断らざるを得なかった。  
9月以降、職員体制が整い、新規の受け入れを再開したが、思うように伸びなかった。  
新規ケースや困難ケースを積極的に受け入れ、地域包括支援センターや医療機関等、  
関係機関の信頼回復に努めたい。

## \* 保険者別

久喜市以外の利用者は

- ・加須市……1名
- ・松戸市……1名

(いずれも市内のケアハウスに入居)

## \* サービス種類別

通所介護と地域密着型通所介護(38.5%)、福祉用具貸与(30.1%)の利用が多く、  
サービス全体の7割を占めている。

訪問看護や訪問・通所リハビリテーション等の医療系サービスの割合は少ない。

要介護1・要介護2の比較的軽い介護度の利用者が多いことによる傾向。

## \* 予防プラン委託元

久喜市……久喜中央地域包括支援センター  
鷲宮包括支援センター

## 2. 備考欄

## 1. 平成30年度の事業実績概要

### 1 法人としての役割

行政とは視点が異なり、「社会・地域における、福祉の発展・充実を使命とする」公益活動を目的とした民間の非営利組織です。地域の方々が、日常生活の中で必要とする様々な福祉ニーズにおいてのサービスを提供し、支援する役割を担っていくこととなっています。

### 2 「地域における公益的な取組」の内容

- ① 社会福祉事業又は公益事業を行うに当たって提供される福祉サービスであること
- ② 対象者が日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者であること
- ③ 無料又は定額な料金で提供されること

平成30年度は、上記の役割と内容をふまえて活動を行ってまいりました

### 3 取組実績

#### ① 安否確認・見守り活動

##### (1) 久喜市A様(男性)91歳 活動報告

平成29年12月18日(月)から平成31年3月29日(金)、週2回訪問。現在終了  
久喜の里：特養(14回)、居宅介護支援事業(17回)、訪問介護(21回)  
総務課(1回)、通所介護(29回) 合計：81回実施

##### (2) 久喜市B様(女性)82歳 活動報告

平成30年2月から、1ヶ月に1回訪問か電話相談を実施。現在継続中  
久喜の里：通所介護(3回訪問、8回電話相談)

#### ② 福祉教育の啓発活動

##### (1) 市内小学校(1校)4年生と交流学習を実施：年7回実施

##### (2) 市内中学校(5校)職場体験を実施

#### ③ 地域住民に向けた介護者教室を実施する

##### (1) 健康寿命(鍼灸マッサージ)についての講習会：喜びの里鷲宮開催

平成30年6月27日(水)：14名参加

##### (2) 介護予防セミナー口腔ケア：久喜の里開催

平成30年7月11日(水)：7名参加

#### ④ その他取組実績

##### (1) 市内中学校、廃品回収へ協力

平成30年12月15日(土)：段ボール50箱提供

##### (2) 地域安全見守り活動

平成31年2月21日(木)

市内を送迎中に車と自転車の事故を目撃。ドライブレコーダー映像を久喜警察署へ提供する。

## 2. 備考欄

1. 平成30年度の事業実績概要

○いきいきデイサービス

<3会場委託>

☆久喜市清久西公民館 研修室……………火曜日実施

☆久喜市立本町小学校 教室……………木曜日実施

☆久喜市鷲宮福祉センター 面会室……………水曜日実施

各会場:定員15名

- ①毎月1回相談員の情報交換会の実施。  
(各会場の相談員との意見交換会)
- ②保健師等による毎月健康維持のために役立つお話会を実施活動した。
- ③いろいろな創作品や趣味活動を通して交流を図る。共同作業で孤立感を解消した。
- ④和やかな雰囲気の中で、大勢で食事を楽しんでいただいた。
- ⑤お出かけを積極的に取り入れ、心に残る思い出の企画プログラムを実施した。

2. 備考欄

- ・ 令和元年7月に東鷲宮地区に新規いきいきデイサービス委託予定。

### 1. 昨年度の重点的な取り組み概要

平成30年度の特別養護老人ホーム喜びの里鷺宮は、法人理念に基づき、スローガンを掲げ、ご入居者様に安心感を与え、元気を高める。そして、自立支援を行い、生活をサポートし、自己実現を目的とし、社会福祉施設として、専門的な機能を高め、地域に信頼される質の高い介護サービスの提供に努め、また、ご入居者様に生きがいや喜び、安らぎのある豊かな日常生活を提供する為、多職種が協同し、チームでの情報共有や良好なチームワークを構築して、医療関連施設との連携に力を注ぎ、質の高いケアサービスを提供することに努めてまいりました。

### 2. 取組み実績（列挙）

- ・ 入院者数及び入院日数が長く、年度目標の利用率96%は、達成できなかったが、平成29年度の実績をわずかに上回り、約94.7%の利用率となった。
- ・ 平均介護度は、年間を通じて、高めだったが、要介護度が高い方の退所が多かった為、年度末では、最終的に平均介護度3.9となった。。入居者の約8割が、市内及び近隣の構成となっている。その他、都内を中心に遠方からの入居者は、親族が市内及び近隣に居住している事がほとんどである。
- ・ 事故報告の構成は、転倒等、内出血及び外傷等が、8割を占める。また、事故件数に対して、ヒヤリハット報告件数が、少ない。人手不足と技術、経験不足から、事故の増加につながっている。
- ・ 人員体制が不足した為、内部研修及び外部研修の機会が、十分に確保できなかった。
- ・ 施設全体の恒例行事は、前年度と同様に開催することが出来たが、外出の機会を確保する事ができなかった。また、レクリエーション活動においても、介護度の重度化、介護職員の人員不足などから取り組みが消極的だった。
- ・ 地域のイベントや防災訓練などへの参加を心掛けた。今後は、地域住民参加の研修等を企画していく。

### 3. 備考欄

1. 昨年度の重点的な取り組み概要

平成30年度の短期入所生活介護事業所喜びの里鷺宮は、法人理念に基づき、スローガンを掲げ、ご利用者様に安心感を与え、元気を高める。そして、自立支援を行い、生活をサポートし、自己実現を目的とし、在宅福祉サービスを提供する事業所として、専門的な機能を高め、地域に信頼される質の高い介護サービスの提供に努め、また、ご利用者様に生きがいや喜び、安らぎのある豊かな日常生活を提供する為、多職種が協同し、チームでの情報共有や良好なチームワークを構築して、質の高いケアサービスを提供することに努めてまいりました。

2. 取組み実績（列挙）

- ・ 年間を通して、全体的に空床利用でのショートステイのニーズは少なかったが、1月から3月にかけて、ロングステイを希望される方が、複数いた。その内のほとんどの利用者が、そのまま特養入所に移行するケースが多かった。平成31年度においては、引き続き、長期入院者の空きベッドを利用して、次期入所予定者のロングステイでのご利用や緊急性の高い在宅ご利用者様の受け入れを積極的に行い、空床ベッドの利用率の向上を継続して図っていきたい。

3. 備考欄

1. 昨年度の重点的な取り組み概要

平成30年度の特養喜びの里鷺宮看護課は、医療・福祉の総合的ケアの視点を持ち、ご入居者様の心身機能に応じた自立への支援とご入居者様の尊厳を守り、生活の質の向上と生活機能の低下を予防し、療養生活支援の専門家として、知識・技術を高め、的確な看護判断技術をもって適切な看護サービスを提供を心がけてまいりました。また、多職種と協同し、ご入居者様の健康の増進に日々努めてまいりました。

2. 取組み実績（列挙）

- ・ 入居者健診：武南病院附属クリニックにて巡回健診の実施（年1回）92名実施。  
職員健診：武南病院附属クリニックにて巡回健診の実施（年1回）106名実施。  
夜勤業務従事者健診：武南病院附属クリニックにて巡回健診の実施（年1回）35名実施。  
職員ストレスチェック：武南病院附属クリニックにて実施（年1回）106名実施。
- ・ 入居者インフルエンザ予防接種：ほつかクリニック嘱託医師により実施（年1回）87名実施。  
肺炎球菌ワクチン定期接種：ほつかクリニック嘱託医師により実施（該当者）8名実施。  
職員インフルエンザ予防接種：武南病院附属クリニックにより実施（年1回）69名実施。
- ・ 嘱託医師往診（毎週火曜日の午前中にほつかクリニックの櫻岡怜子医師により実施）
- ・ 歯科往診（毎週月曜日の午後にアイルめぐみ歯科により実施）  
（本町歯科診療所（対象者2名）、新白岡口腔リハ歯科クリニック（対象者1名）により適宜実施）
  
- ・ 外来受診：延べ受診件数 476件（前年度比：79件増）
- ・ 入院状況：延べ入院者数 82名（前年度比：12名増）  
延べ入院日数 1459日（前年度比：7日増）

3. 備考欄

### 1. 昨年度の重点的な取り組み概要

- ・ 食事による栄養状態の改善・維持に努める。
- ・ 給食業務の内容を向上する。
- ・ 水分補給のための指導・実践を行う。

### 2. 取り組み実績（列挙）

- ・ 献立会議の定期開催により、毎日のメニューや行事・イベント食・季節のメニューの充実を図った。
- ・ 給食会議の定期開催により、食事形態や提供方法等の問題点を検討改善した。
- ・ 栄養マネジメントにより、栄養状態の維持と向上が実施できた反面、入院数が増加した。
  - ①提供栄養量は、ほぼ目標基準値に近い数値で提供できた
  - ②7割の入居者が、栄養状態良好を維持している。高リスク=3%・中リスク=24%から18%に減少。低リスク=74%から79%に増加している。
  - ③定期採血などの結果から、疾病治療の対象利用者が増加したが、疾患治療の直接手段として、主治医より発行される食事箋に基づき、療養食の献立作成と適切な食事提供を行った。
- ・ 給食業務内容は安定し、人事も充実した。

### 3. 備考欄

1. 昨年度の重点的な取り組み概要
<p>4年目を迎えたデイサービスでは、地域密着型デイにふさわしい介護を提供すべく、個々の利用者様により近いケアを心がけてまいりました。結果、昨年度よりも更に、地域や居宅支援事業所担当者への認知度も広がりを見せ、前年比、約780名増の延べ利用者数を挙げる事ができました。</p> <p>次年度以降は、今年の数値を安定維持させていくことを念頭に置き、一人一人の利用者様の特徴を把握した「個別ケア」を推進し、さらなる地域への浸透と、利用数安定及び経営安定に向けて取り組んでいきたいと考えております。</p>
2. 取組み実績
<p>1. 数値目標</p> <p>【延べ利用者数】 目標3,180人 → 結果3,471人 男女比 1050人：2421人 = 3：7</p> <p>【登録者数】 目標40人 → 結果40人</p> <p>【ケアプラン延べ数】 64件 13カ所 光熱水費削減・・・改善余地あり</p> <p>2. サービス目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ヒヤリハット報告書11件（目標30件）</li><li>・利用者満足度調査1回（目標1回）</li><li>・クラブ活動創設3種類（目標4種類）</li><li>・定期ボランティア3組（目標2組以上）</li><li>・地域行事への参加0回（目標1回）</li></ul> <p>事故件数 8件（内車両1件） 外出イベント等行事 14回 新規利用者 22人（中止者19人）</p>
3. 備考欄
<p>・運営推進会議や、ボランティアさんを通じて、さらに地域にひらかれたデイサービスを目指していきます。</p>